

元気にな～れ

今月は ● ● ●



293

認知症を理解する

～認知症の方の接し方の原則～

● ● ● 社会福祉士 畑山 賢二です。

認知症の方と接する時、どのように対応すればよいのか戸惑いを感じることもあると思います。また、介護する側が“認知症と気づかない”“認知症の認識がない”ことにより誤った接し方をしてしまい認知症状が悪化してしまっている事例もあります。症状や行動は個人によって様々ですので、対応の答えはありませんが、基本的な接し方は変わりません。

●症状や行動への接し方の原則

症状や行動	【一般的に多い事例】 <ul style="list-style-type: none">・短期記憶障害 ⇒ 例) すぐに忘れてしまうため、例えば、食事をしたにもかかわらず「食べてない」などと言う・物盗られ妄想 ⇒ 例) 物を盗られた、無くなったと疑う・幻視・幻聴 ⇒ 例) 実際に存在しないものが見えたり聞こえたりする・介護拒否 ⇒ 例) 必要な入浴や受診などを拒否する・収集癖 ⇒ 例) ゴミや捨ててあるものなどを拾ってきて大事にしまい込む・徘徊 ⇒ 例) 外に出てしまい、帰って来られなくなる・昼夜逆転 ⇒ 例) 昼間はウトウトし、夜になると活動的になる など
	対応例) <ul style="list-style-type: none">・本人の認識に合わせながら、要求を冷静に考え対応する。・なぜそのような行動をするのか動機や背景を考え、原因や状況を判断し少しでも本人の行動を満たせるように対応する。・話題や場面を徐々に変えながら、関心をそらせる。・失敗を未然に防ぐ方法（状況や環境など）を考える。 など
接し方	<p>※絶対してはならないこと</p> <ul style="list-style-type: none">・「ダメ!」「違う!」などと否定すること・叱ること・説得すること 

認知症の方の対応で心がけることは、「自尊心を尊重すること」です。認知症の方を子供のように叱りつけたり、現実とはかけ離れた本人の言葉に対し、頭ごなしに否定したりすると、本人のプライドが傷つけられ、症状の悪化につながることもあります。

また、「レビー小体型認知症」「前頭側頭型認知症」など、認知症の種類によってははっきりと症状が出現します。これはどんなに素晴らしいケアや対応を行っても改善するものではありません。脳病変の影響が強いため薬物治療が有効な場合もありますので、精神科などの専門医を受診しドクターに相談してみることも必要です。